

四日市市立泊山小学校
平成23～25年度学校づくりビジョン
【24年度版】

I 日々の授業・学習の充実

- 子どもの興味をいかす授業づくりに努めます。
 - ・考える場、伝え合う場を位置づけた授業づくり
 - ・話す、書く、聴くを重視した授業づくり
 - ・地域の人材、南部丘陵公園等を活用した授業づくり
- 子どもの自主的な活動をうながす授業の工夫を行います。
 - ・子どもが見通しをもち、創造性を高める授業
 - ・子どもの実態に応じ、体験活動やグループ活動
- 将来につながる基礎基本の充実に努めます。
 - ・特別支援教育をはじめ個に応じたきめ細かい指導の充実
 - ・朝の10分間を有効活用した、漢字・計算練習等の反復学習の実施
 - ・発達段階に応じた、継続した家庭学習の実施
 - ・場に応じた言葉遣いができるなど、言語活動の充実

教育目標
つながる心・つながる個



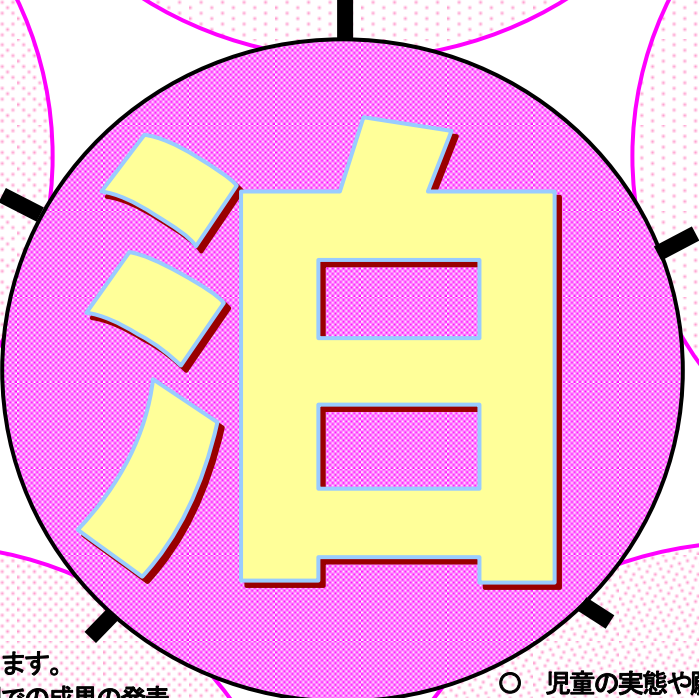
めざす学校の姿
笑顔と感動のある学校

III からだづくりの推進、安全意識の向上

- 意欲的に取り組むことができる体育の授業・行事を実施します。
 - ・学習の成果を発揮できる場としての運動会の実施
 - ・運動量の増大を目指した身体活動・遊びの充実
 - ・自己や学級の目標を意識したマラソン記録会、長縄記録会の充実
- 食の大切さを学び、食生活にいかす望ましい食習慣の形成に努めます。
 - ・食育の授業・給食便りの活用
- 自分のからだのしくみや成長の変化を知り、健康で安全な生活を送るための保健指導を行います。
 - ・担任と養護教諭が連携した保健の授業の実施
 - ・低学年からの系統的な指導
- 学校事故を減少させるため、安全意識の向上に努めます。
 - ・遊具の正しい使い方指導
 - ・定期的な安全指導、安全点検

II 心の教育の推進

- 心をつなぐ道徳教育を推進します。
 - ・いじめや差別を許さない仲間づくり
 - ・思いを表現する場の設定
 - ・学級園、飼育小屋、池等の活用
 - ・南部丘陵公園を舞台とする活動や児童会活動
- 豊かな心を育み考える力を養うため読書指導等を充実します
 - ・朝の読書タイム
 - ・読書週間
 - ・学校図書館司書・ボランティアとの連携
- 毎日の清掃活動やあいさつ運動など基本的な生活習慣の定着を図ります。
- 観察やアンケート調査を行い、児童の実態を把握し、カウンセラーと連携した教育相談を充実します。



IV 地域・保護者との連携、信頼づくり

- 泊山フェスティバルを実施します。
 - ・生活科や総合的な学習の時間での成果の発表
 - ・地域の施設・人材と関わり、地域と連携した教育活動を発表する場の工夫
 - ・地域の方々や保護者の参加、参画型の授業の創造
- 教育活動を公開するとともに、保護者との連携に努めます。
 - ・年4回の授業参観や学校公開の実施
 - ・連絡表渡しを一、二学期末に実施
 - ・学校通信、学年通信、道徳通信等の発行
 - ・ホームページの充実
- 地域・保護者と協働し、子どもたちの健全育成に取り組めます。
 - ・情報の共有化のための家庭訪問の実施
 - ・地域ボランティアと協働した登下校指導
 - ・子どもたちの健全な育成のため、地域の会議に参加

V 教職員の資質能力の向上

- 児童の実態や願いを把握できる教師の力量を高めます。
 - ・児童の日常の様子の観察及び記録の実施
 - ・学年集団で児童を観察する体制の確立
- 授業研究会や工夫した研修会を推進し、教師の力量を高めます。
 - ・一人1回以上の授業提案の実施
 - ・授業研究会を市内に公開するなど外部評価を受ける機会の設定
 - ・学級や学年の取り組みの交流、グループ討議等を取り入れた研修会の実施
- 県内外の先進校の研究会に参加し、研修内容を還元します。
- 公開研究会を実施します。

めざす子どもの姿



学校の様子

南部丘陵公園・泊山公園など自然にも恵まれている。老人ホーム・児童養護施設など福祉施設も多い地域である。保護者・地域の人々も学校に協力的である。
児童は、素直で温かい心をもつ子が多く学習にも前向きに取り組む子が増えてきている。
しかし、様々な理由から、基本的な生活習慣や学習習慣が身につけていない子どももおり、二極化が進行している。

* 本校の校章を模してビジョンとしています